平成29年度　シラバス　授業計画

アクティブラーニング入門(Introduction to Active Learning)

担当教員名	木上　裕貴	
学科，科目詳細	機械工学科 1年 前期 一般科目 必修科目 1単位 演習	
学習・教育目標	(D)(E)	
科目の概要	参加することを前提に、他者と対話し、自ら調べ、行動する。アクティブな学び方を知り、基盤となる知識や態度を身につける。自分と他者を知り、学び合う関係性をつくり、課題を見つけ定義する学びを体験する。	
テキスト(参考文献)	テキストは指定しない。適宜資料を配布する。	
履修上の注意	学生同士での議論を中心に参加型学習の手法によって展開する為、授業へ参加する姿勢は必須。個々が学ぶ姿勢を持ち、勇気をもって自らの考えを声に出し、他者の声に耳を傾けることで学ぶ。日々の出来事に興味を抱くこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	1) 毎授業での「ふりかえりシート」で授業内容の理解度と授業参加の積極性を評価する(40%) 2) 中間・期末試験で参加への積極性と自己理解を評価する(20%) 3) 授業内成果物での課題定義の的確性と論理性を評価する(40%)	
連絡先	h-kigami@npo-seeds.jp	

授業の計画・内容
第1週 「アクティブであるとは、どういうことか」　授業の狙いを理解し、共に学ぶ仲間として出会う。
第2週 合宿研修
第3週 「アクティブになるには何が必要か」　参加して学ぶことを経験する。
第4週 「参加の経験(1) 自分の考えを持つ」　与えられたテーマから個人で課題を探し、見つける。
第5週 「参加の経験(2) 話す、聴く」　見つけた課題を仲間に話し、仲間から聞き取る。
第6週 「参加の経験(3) 考え、深める」　仲間と課題を再考し、捉え直す。
第7週 「参加の経験(4)考えをまとめる」　仲間での課題を抽出し定義する。
第8週 中間試験
第9週 中間試験の振り返り「（自分の）参加の形はどうだったか？」　グループでの動きを分析する。
第10週 「課題発見(1)自らの課題を発見する 」　多角的な視点で課題を発見する力を養う。
第11週 「課題発見(2) グループで課題を定義する」　各々の課題から合意形成する力を養う。
第12週 「課題発見(3) 他者からのフィードバックを得る」　課題をグループ間で共有し再定義する。
第13週 「課題発見(4) 仮説を立てる」　課題と解決のための仮説を立てる。
第14週 「課題発見(5) 他者に伝える」　他者に課題を伝えるプレゼンテーションをつくる。
第15週 「課題の発表」　プレゼンテーションを通し、自ら課題を定義する学びとは何かを確認する。
期末試験